

科目名	応急手当							年度	2025
英語科目名	Emergency treatment							学期	通年
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	演習
担当教員	加藤 秀樹	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 病気や事故などで心停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生（そせい）などの応急手当を行う必要があります。									
【科目の概要】 様々な場面での応急手当の方法について学びます。									
【到達目標】 A 応急手当に必要な知識を理解する B 応急手当（外傷）について理解する C 応急手当（内傷）について理解する D その他の応急手当について理解する E AEDの使い方について理解する									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合もある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	応急手当に必要な知識を十分理解していて、他者に指導が出来る	応急手当に必要な知識を十分理解している		応急手当の必要な知識を理解している		応急手当は理解している		応急手当の必要性を理解していない	
到達目標 B	応急手当（外傷）に必要な知識を十分理解していて、他者に指導が出来る	応急手当（外傷）に必要な知識を十分理解している		応急手当（外傷）の必要な知識を理解している		応急手当（外傷）は理解している		応急手当（外傷）の必要性を理解していない	
到達目標 C	応急手当（内傷）に必要な知識を十分理解していて、他者に指導が出来る	応急手当（内傷）に必要な知識を十分理解している		応急手当（内傷）の必要な知識を理解している		応急手当（内傷）は理解している		応急手当（内傷）の必要性を理解していない	
到達目標 D	応急手当（その他）に必要な知識を十分理解していて、他者に指導が出来る	応急手当（その他）に必要な知識を十分理解している		応急手当（その他）の必要な知識を理解している		応急手当（その他）は理解している		応急手当（その他）の必要性を理解していない	
到達目標 E	AEDに必要な知識を十分理解していて、他者に指導が出来る	AEDに必要な知識を十分理解している		AEDの必要な知識を理解している		AEDは理解している		AEDの必要性を理解していない	
【教科書】 必要に応じてプリント資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み、課題レポート等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		応急手当				年度	2025
英語表記		Emergency treatment				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイドンス	応急手当の必要性を理解する	1	ガイドンス	応急手当の必要性を理解する	3	
			2	救命処理	救命処理の重要性を理解する		
2	救命の連鎖	救命の連鎖を理解する	1	119番通報の方法	119番通報の方法を理解する	3	
			2	救命の連鎖	救命の連鎖を理解する		
			3	突然死	突然死の予防について理解する		
3	救命に必要な応急手当	救命に必要な応急手当を理解する	1	一次救命処置	心肺停止状態の傷病者への応対を理解する	3	
			2	A E D	A E Dの使用方法を理解する		
			3	気道異物の除去	気道異物の除去方法について理解する		
4	心肺蘇生	心肺蘇生を理解する	1	反応の確認	反応の確認について理解する	3	
			2	胸椎圧迫	胸椎圧迫の仕方を理解する		
			3	人工呼吸	人口呼吸の仕方を理解する		
5	心肺蘇生の一連の流れ	実技演習	1	反応の確認	実技を通して演習する	3	
			2	胸椎圧迫	実技を通して演習する		
			3	人工呼吸	実技を通して演習する		
6	直接圧迫止血法	直接圧迫止血法	1	止血法	止血法について理解する	3	
			2	動脈・静脈	動脈・静脈を理解する		
7	直接圧迫止血法演習	実技演習	1	止血法	実技を通じて演習する	3	
8	保温法	保温法を理解する	1	保温	保温の大切さを理解する	3	
			2	保温法	保温の仕方を理解する		
9	ショック時の対応	ショック時の対応を理解する	1	ショック	ショックについて理解する	3	
			2	ショックの症状	ショックの特徴について理解する		
			3	ショックの応対	ショックの応対方法を理解する		
10	包帯法	包帯法を理解する	1	たたみ三角巾	たたみ三角巾の作り方	3	
			2	圧迫包帯止血	圧迫包帯止血について理解する		
			3	被覆・固定	被覆・固定について理解する		
11	包帯法演習	実技演習	1	たたみ三角巾	実技を通じて演習する	3	
			2	圧迫包帯止血	実技を通じて演習する		
			3	被覆・固定	実技を通じて演習する		
12	副子固定法	副子固定法を理解する	1	副子固定法	副子固定法について理解する	3	
			2	前腕	副子固定法（前腕）について理解する		
			3	後湾	副子固定法（後腕）について理解する		
13	熱傷の手当	熱傷の手当を理解する	1	熱傷	熱傷について理解する	3	
			2	熱傷の手当	熱傷の手当について理解する		
14	熱中症の対応	熱中症の対応を理解する	1	熱中症	熱中症について理解する	3	
			2	熱中症予防	熱中症予防について理解する		
				熱中症対処	熱中症対処について理解する		
15	まとめ	まとめ	1	まとめ	これまでのまとめ	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等